

本場食品衛生検査所

理化学検査情報

Vol.49 2018 No.3
平成 30 年 3 月発行



今号の内容 平成 29 年 10 月～12 月までに検査した

残留農薬検査結果

放射性物質検査結果

総水銀検査結果

PCB 検査結果

抗菌性物質検査結果

横浜市健康福祉局中央卸売市場本場食品衛生検査所
TEL 045-441-1153

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/kensajo/>

1 残留農薬検査

平成 29 年 10 月から 12 月までの残留農薬検査は、輸入農産物 5 検体、国産農産物 31 検体計 36 検体（21 種）について実施しました。

農薬を検出した検体数は 12 検体（29 農薬）でした。このうち茨城県産ハウレンソウから残留基準値を超過するフェニトロチオン 1.3ppm（基準値 0.2ppm 以下）が検出されたため、販売者に対し回収を指導、併せて生産者を所管する茨城県に調査を依頼し、茨城県は当該品のが回収命令を出しました。その他残留基準値を超えた検体はありませんでした。

農産物別検体数

検体名	検体数	農薬検出 検体数
1 アスパラガス	1	
2 イチゴ	1	1
3 カキ	1	
4 カンショ	1	
5 キャベツ	4	
6 キュウリ	3	2
7 キョウナ	1	
8 グレープフルーツ	1	1
9 ショウガ	1	
10 ダイコン根	2	
11 トマト	1	
12 ナス	2	1
13 ニンジン	1	
14 ニンニク	1	
15 ネギ	3	
16 ハクサイ	2	1
17 ピーマン	3	2
18 ハウレンソウ	1	1
19 ミカン	2	
20 リンゴ	1	1
21 レタス	3	2
計	36	12

生産地別検体数

輸入農産物		
産地	検体数	農薬検出 検体数
1 オーストラリア	1	
2 スペイン	1	
3 メキシコ	1	1
4 韓国	1	1
5 中国	1	
計	5	2
国産農産物		
産地	検体数	農薬検出 検体数
1 茨城県	8	4
2 神奈川県	6	1
3 千葉県	4	1
4 青森県	1	1
5 山形県	3	
6 群馬県	2	
7 和歌山県	2	
8 宮崎県	1	1
9 高知県	1	
10 静岡県	1	
11 長野県	1	1
12 栃木県	1	1
計	31	10

農産物検査結果

検体名	産地	収去日	収去部署	検出農薬	検出値	(検出 限界値)	基準値	(ppm)
1 カキ	和歌山県	10月17日	本場市場	不検出				
2 ミカン	和歌山県	10月17日	本場市場	不検出				
3 キャベツ	群馬県	10月17日	本場市場	不検出				
4 ハクサイ	長野県	10月17日	本場市場	ルフエヌロン	0.02	(0.01)	1 以下	
				ボスカリド	0.07	(0.01)	40 以下	
				クロチアニジン	0.02	(0.01)	2 以下	
				ピラクロストロビン	0.02	(0.01)	3 以下	
				メタラキシル及びメフェノキサム	0.04	(0.01)	0.3 以下	

検体名	産地	収去日	収去部署	検出農薬	検出値	(検出 限界値)	基準値	(ppm)
5	サニーレタス	茨城県	10月17日	本場市場	不検出			
6	キュウリ	群馬県	10月17日	本場市場	不検出			
7	ピーマン	茨城県	10月17日	本場市場	ボスカリド シフルフェナミド	0.03 0.01	(0.01) (0.01)	10以下 1以下
8	ナス	千葉県	10月26日	南部市場	4-クロルフェノキシ酢酸	0.02	(0.01)	0.1以下
9	トマト	千葉県	10月26日	南部市場	不検出			
10	ミカン	静岡県	10月26日	南部市場	不検出			
11	ダイコン根	神奈川県	10月26日	南部市場	不検出			
12	カンショ	茨城県	10月26日	南部市場	不検出			
13	レタス	茨城県	11月1日	南部市場	ボスカリド	0.05	(0.01)	40以下
14	ハウレンソウ	茨城県	11月1日	南部市場	ダイアジノン フェニトロチオン クロルフェナビル	0.04 1.3 0.02	(0.01) (0.01) (0.01)	0.1以下 0.2以下 3以下
15	ネギ	山形県	11月1日	南部市場	不検出			
16	キョウナ	茨城県	11月1日	南部市場	不検出			
17	ピーマン	山形県	11月1日	南部市場	不検出			
18	アスパラガス	オーストラリア	11月27日	本場市場	不検出			
19	ピーマン (パプリカ)	韓国	11月27日	本場市場	クレソキシムメチル テトラコナゾール ボスカリド	0.09 0.3 0.43	(0.01) (0.01) (0.01)	2以下 1以下 10以下
20	グレープ フルーツ	メキシコ	11月27日	本場市場	イマザリル(残農として)	1.83	(0.01)	5.0以下
21	ニンニク	スペイン	11月27日	本場市場	不検出			
22	キュウリ	神奈川県	11月27日	本場市場	クロルフェナビル プロシミドン	0.02 0.17	(0.01) (0.01)	0.5以下 5以下
23	イチゴ	栃木県	11月27日	本場市場	シメコナゾール	0.11	(0.01)	3以下
24	キャベツ	神奈川県	11月27日	本場市場	不検出			
25	サニーレタス	茨城県	12月14日	本場市場	ルフェヌロン ボスカリド クロチアニジン ピラクロストロビン チアメトキサム	0.06 0.42 0.01 0.02 0.02	(0.01) (0.01) (0.01) (0.01) (0.01)	10以下 40以下 20以下 2以下 3以下
26	リンゴ	青森県	12月14日	本場市場	トリフロキシストロビン プロパルギット ボスカリド	0.02 0.22 0.03	(0.01) (0.01) (0.01)	3以下 5以下 2以下
29	ネギ	山形県	12月14日	本場市場	不検出			
30	キュウリ	宮崎県	12月14日	本場市場	プロシミドン クロチアニジン	0.03 0.11	(0.01) (0.01)	5以下 2以下
31	キャベツ	神奈川県	12月14日	本場市場	不検出			
32	ナス	高知県	12月14日	本場市場	不検出			
33	ニンジン	千葉県	12月14日	本場市場	不検出			
34	ショウガ	中国	12月21日	南部市場	不検出			
35	ネギ	千葉県	12月21日	南部市場	不検出			
36	ハクサイ	茨城県	12月21日	南部市場	不検出			
37	ダイコン根	神奈川県	12月21日	南部市場	不検出			
38	キャベツ	神奈川県	12月21日	南部市場	不検出			

検出した農薬について

	農薬名	種類	特徴
1	イマザリル	イミダゾール系 抗真菌剤	作用機序は真菌の細胞壁のエルゴステロール生合成を阻害する。添加物では防かび剤として使用されている。
2	クレソキシムメチル	ストロビルリン系 殺菌剤	作用機構はミトコンドリア内のチトクローム電子伝達系阻害による呼吸障害で、結果として孢子発芽および菌糸伸長を阻害すると考えられている。日本では1997年に初めて農薬登録された。
3	4-クロルフェノキシ酢酸	植物成長調整剤	インドール酢酸用活性(合成オーキシン)を示す。
4	クロチアニジン	ネオニコチノイド系 殺虫剤	1988年に日本企業で開発された。作用機構は昆虫中枢神経系のニコチン性アセチルコリン受容体に対するアゴニスト作用である。日本では2002年に初めて農薬登録された。
5	クロルフェナピル	ピロール環を有する 殺虫剤(防ダニ剤)	1998年に開発され、作用機序はミトコンドリアにおける参加的リン酸化反応のうち、リン酸化のみを阻害し、酸化的リン酸化を共役阻害することによって殺虫作用を示すと推察されている。
6	シフルフェナミド	アミドキシム系 殺菌剤	日本で開発され、麦類、いちご、メロン等のうどんこ病および灰星病に防除効果を示す。作用機序は解明されていない。海外では韓国、イスラエルで登録されており日本では2002年12月に初めて農薬登録された。
7	シメコナゾール	トリアゾール系 殺菌剤	作用機序は、菌類の細胞膜成分であるエルゴステロール生合成の阻害であり、ラノステロールのC14位脱メチル化を阻害する。
8	ダイアジノン	有機リン系 殺虫剤	1953年に開発され、コリンエステラーゼ活性を阻害することによって殺虫活性を示す。日本では1960年に初回農薬登録された。動物用医薬品としては国内では承認はないが、海外では、外部寄生虫駆除を目的とした製剤が使用されている。
9	チアメトキサム	ネオニコチノイド系 殺虫剤	作用部位は昆虫中枢神経系のニコチン性アセチルコリン受容体である。日本では2002年に初めて農薬登録がなされた。
10	テトラコナゾール	トリアゾール系 殺菌剤	作用機序は、エルゴステロールの生合成の過程において、2,4-メチレンジヒドロラノステロールの脱メチル化を阻害することにより、菌類の正常な生育の阻害により殺菌効果を示す。日本では1998年に初回農薬登録された。
11	トリフロキシストロビン	ストロビルリン系 殺菌剤	作用機序は、病原菌に対しミトコンドリアの電子伝達系を阻害することにより、孢子発芽阻止、孢子発芽以降の宿主への侵入阻止などの作用を示すことが確認されている。日本では2001年に初回農薬登録されており、その他、米国、欧州、豪州等多くの国で農薬登録が取得されている。
12	ピラクlostロビン	ストロビルリン系 殺菌剤	1993年に開発された。ミトコンドリア内のチトクローム電子伝達系阻害による呼吸阻害により、殺菌活性を示す。外国ではスイス、ドイツ、フランス等で登録されている。日本では2006年9月に初回登録された。
13	フェニトロチオン	有機リン系 殺虫剤	日本企業で開発された。作用機序は昆虫体内に入った後、酵素の働きでオクソン体となり、コリンエステラーゼと結合することで酵素活性を低下させ、正常な神経伝達を阻害することにより殺虫効果を示すものと考えられている。国内では1961年に初回農薬登録されている。また、動物用医薬品としては、国内で牛等の外部寄生虫の駆除を目的とした噴霧投与剤が承認されている。
14	プロシモドン	ジカルボキシイミド系 殺菌剤	植物病原菌(灰色かび病、菌核病等)に対し、菌糸の伸張育成を阻害すると考えられている。日本では1981年に初めて農薬登録された。
15	プロパルギット	亜硫酸エステル系 殺虫剤、殺ダニ剤	作用機序はミトコンドリアのATPase阻害及びモノアミン酸化酵素阻害により、殺虫活性を示すと考えられている。日本では1967年に初回農薬登録された。海外では米国、豪州等で登録が取得されている。
16	ポスカリド	アニリド系 殺菌剤	1992年に発見された。ミトコンドリア内膜のコハク酸脱水素酵素系複合体の電子伝達を阻害することで灰色かび病、菌核病に効果を示す。日本では2005年に初めて農薬登録された。

	農薬名	種類	特徴
17	メタラキシル 及び メフェノキサム	アシルアラニン誘導体 殺菌剤	1973年にスイスで開発された。作用機構は、菌体内におけるウリジンのRNAへの取り込み、又はRNA、DNA及び資質の合成阻害による病原菌の菌糸伸長並びに胞子形成の阻害である。
18	ルフェヌロン	ベンゾイルフェニルウレア系 殺虫剤	昆虫表皮の主成分であるキチン質の合成を阻害し、幼虫の脱皮阻害を引き起こすことで殺菌作用を示す。日本では1998年に初回農薬登録された。

参考 内閣府食品安全委員会 食品安全情報システム 評価書
農薬工業会

2 放射性物質検査

平成29年10月から12月までの放射能検査は、水産物38検体、農産物9検体、福祉保健センターからの依頼検査8検体、学校給食用食材8検体、合計63検体について実施しました。放射性物質を検出した検体はありませんでした。

(1) 水産物

魚種別検体数

検体名	検体数
1 アカアマダイ	1
2 アカカマス	1
3 アンコウ	2
4 イボダイ(エボダイ)	1
5 カツオ	1
6 キチジ(キンキ)	1
7 キンメダイ	2
8 サケ	1
9 サヨリ	1
10 サワラ	2
11 サンマ	1
12 スケトウダラ	2
13 スズキ	1
14 ブリ	4
15 マアジ	3
16 マアナゴ(開き)	1
17 マサバ	1
18 マダイ	2
19 マダラ	2
20 マナマコ(アカナマコ)	1
21 マグロ	4
22 ヤリイカ	3
計	38

産地別検体数

産地	検体数
1 北海道	2
2 青森県	7
3 岩手県	5
4 宮城県	8
5 千葉県	7
6 神奈川県	9
計	38

水産物検査結果

検体名	産地	漁獲水域	収去日	結果(Bq/kg)			備考	
				Cs-134	Cs-137	Cs 合計		
1	サケ	岩手県	岩手県沖	10月6日	<0.691	<0.688	検出限界未満	天然
2	サンマ	宮城県	宮城県沖	10月6日	<0.738	<0.736	検出限界未満	天然
3	メバチマグロ (フィレ)	宮城県	宮城県沖	10月6日	<0.704	<0.832	検出限界未満	天然
4	キチジ(キンキ)	北海道	北海道沖	10月6日	<0.598	<0.817	検出限界未満	天然
5	ブリ	北海道	北海道沖	10月13日	<0.684	<0.635	検出限界未満	天然
6	サワラ	宮城県	三陸北部沖	10月13日	<0.790	<0.843	検出限界未満	天然
7	ブリ(ワラサ)	宮城県	三陸南部沖	10月13日	<0.742	<0.845	検出限界未満	天然
8	マダイ	千葉県	千葉県沖	10月13日	<0.693	<0.721	検出限界未満	天然
9	スケトウダラ	青森県	青森県沖	10月27日	<0.764	<0.884	検出限界未満	天然
10	ブリ(イナダ)	青森県	青森県沖	10月27日	<0.830	<0.570	検出限界未満	天然
11	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	10月27日	<0.763	<0.795	検出限界未満	天然
12	カツオ	千葉県	千葉県沖	10月27日	<0.759	<0.878	検出限界未満	天然
13	マダイ	千葉県	千葉県沖	11月2日	<0.711	<0.794	検出限界未満	天然
14	マアジ	神奈川県	神奈川県沖	11月2日	<0.703	<0.721	検出限界未満	天然
15	サヨリ	神奈川県	神奈川県沖	11月2日	<0.666	<0.780	検出限界未満	天然
16	ブリ(イナダ)	岩手県	三陸北部沖	11月2日	<0.827	<1.05	検出限界未満	天然
17	サワラ	宮城県	三陸北部沖	11月21日	<0.897	<0.899	検出限界未満	天然
18	マサバ	宮城県	宮城県沖	11月21日	<0.837	<1.10	検出限界未満	天然
19	アカカマス	神奈川県	神奈川県沖	11月21日	<0.736	<0.963	検出限界未満	天然
20	アカアマダイ	神奈川県	神奈川県沖	11月21日	<0.738	<0.849	検出限界未満	天然
21	マアナゴ(開き)	茨城県	千葉県沖	11月29日	<0.759	<0.695	検出限界未満	天然
22	マダラ	青森県	青森県沖	11月29日	<0.764	<0.749	検出限界未満	天然
23	アンコウ	青森県	青森県沖	11月29日	<0.907	<0.790	検出限界未満	天然
24	イボダイ(エボダイ)	神奈川県	神奈川県沖	12月8日	<0.642	<0.853	検出限界未満	天然
25	マアジ	神奈川県	神奈川県沖	12月8日	<0.692	<0.829	検出限界未満	天然
26	ヤリイカ	宮城県	岩手県沖	12月8日	<0.752	<0.866	検出限界未満	天然
27	マナマコ (アカナマコ)	神奈川県	神奈川県沖	12月20日	<0.686	<0.637	検出限界未満	天然
28	マアジ	神奈川県	神奈川県沖	12月20日	<0.641	<0.835	検出限界未満	天然
29	ヤリイカ	宮城県	岩手県沖	12月20日	<0.829	<0.727	検出限界未満	天然
30	スズキ	神奈川県	神奈川県沖	12月20日	<0.663	<0.896	検出限界未満	天然
31	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	12月15日	<0.682	<0.754	検出限界未満	天然
32	ヤリイカ	岩手県	岩手県沖	12月15日	<0.826	<0.867	検出限界未満	天然
33	スケトウダラ	青森県	青森県沖	12月15日	<0.757	<0.965	検出限界未満	天然
34	マダラ	青森県	青森県沖	12月15日	<0.810	<0.934	検出限界未満	天然
35	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	12月22日	<0.625	<0.762	検出限界未満	天然
36	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	12月22日	<0.626	<0.777	検出限界未満	天然
37	メジマグロ	千葉県	千葉県沖	12月22日	<0.686	<0.773	検出限界未満	天然
38	アンコウ	青森県	青森県沖	12月22日	<0.705	<0.714	検出限界未満	天然

(2) 農産物検査結果

農産物別検体数

検体名	検体数
1 イチゴ	1
2 キャベツ	1
3 キュウリ	3
4 サニーレタス	1
5 ニラ	1
6 ピーマン	1
7 ぶどう(巨峰)	1
計	9

産地別検体数

産地	検体数
1 岩手県	1
2 福島県	1
3 栃木県	1
4 茨城県	3
5 山梨県	1
6 神奈川県	2
計	9

農産物検査結果

検体名	産地	購入日	結果(Bq/kg)			その他
			Cs-134	Cs-137	Cs 合計	
1 キュウリ	神奈川県	10月20日	< 0.859	< 0.879	検出限界未満	ハウス
2 ぶどう(巨峰)	山梨県	10月20日	< 0.677	< 0.889	検出限界未満	露地
3 キャベツ	岩手県	10月20日	< 0.832	< 0.934	検出限界未満	露地
4 キュウリ	福島県	11月17日	< 0.679	< 0.923	検出限界未満	ハウス
5 ピーマン	茨城県	11月17日	< 1.01	< 0.789	検出限界未満	ハウス
6 サニーレタス	茨城県	11月17日	< 0.898	< 0.902	検出限界未満	露地
7 キュウリ	神奈川県	12月26日	< 0.929	< 0.865	検出限界未満	ハウス
8 イチゴ	栃木県	12月26日	< 0.807	< 0.765	検出限界未満	ハウス
9 ニラ	茨城県	12月26日	< 0.565	< 0.931	検出限界未満	ハウス

(3) 福祉保健センターからの依頼検査結果

検体名	食品分類	産地	依頼部署	買取日	結果(Bq/kg)		
					Cs-134	Cs-137	Cs 合計
1 味噌	一般食品	秋田県	保土ヶ谷区	10月16日	< 0.749	< 0.649	検出限界未満
2 牛乳	牛乳	北海道	保土ヶ谷区	10月16日	< 0.691	< 0.850	検出限界未満
3 清涼飲料水	乳児用食品		保土ヶ谷区	10月16日	< 0.579	< 0.792	検出限界未満
4 米飯類	乳児用食品		保土ヶ谷区	10月16日	< 3.39	< 3.09	検出限界未満
5 調製粉乳	乳児用食品		青葉区	10月16日	< 1.29	< 1.62	検出限界未満
6 米飯類	乳児用食品		青葉区	10月16日	< 2.53	< 2.88	検出限界未満
7 牛乳	牛乳		青葉区	10月16日	< 0.788	< 0.685	検出限界未満
8 牛乳	牛乳	長野県	青葉区	10月16日	< 0.690	< 0.782	検出限界未満

(4) 学校給食食材検査結果

食材	食材提供日	検査日	結果(Bq/kg)		
			Cs-134	Cs-137	Cs 合計
1 米	10月31日	10月30日	< 0.886	< 0.735	検出限界未満
2 麦	10月31日	10月30日	< 0.810	< 0.905	検出限界未満
3 牛乳	10月31日	10月30日	< 0.721	< 0.776	検出限界未満
4 牛乳	10月30日	10月30日	< 0.643	< 0.856	検出限界未満
5 牛乳	11月1日	10月31日	< 0.537	< 0.587	検出限界未満
6 米	11月2日	11月1日	< 0.792	< 0.795	検出限界未満
7 麦	11月2日	11月1日	< 0.881	< 0.881	検出限界未満
8 牛乳	11月2日	11月1日	< 0.783	< 0.758	検出限界未満

3 水銀検査

平成 29 年 10 月から 12 月までの魚介類の総水銀検査は、15 検体について実施しました。暫定的規制値を超える総水銀を検出した検体はありませんでした。

(魚介類の水銀の暫定的規制値：総水銀 0.4ppm かつメチル水銀 0.3ppm)

総水銀検査結果

品名	産地	収去日	検出値	(検出限界値)	(ppm)
1 マダイ(養殖)	三重県	10月12日	0.24	(0.01)	
2 シマアジ(養殖)	三重県	10月12日	0.16	(0.01)	
3 カンパチ(養殖)	愛媛県	10月12日	0.18	(0.01)	
4 ブリ(養殖)	鹿児島県	10月12日	0.16	(0.01)	
5 マダイ(養殖)	愛媛県	10月12日	0.22	(0.01)	
6 マサバ	青森県	11月9日	0.06	(0.01)	
7 マコガレイ	青森県	11月9日	0.04	(0.01)	
8 トラギス(トラハゼ)	愛知県	11月9日	0.05	(0.01)	
9 マアジ	島根県	11月9日	0.03	(0.01)	
10 マゴチ(コチ)	大分県	11月9日	0.08	(0.01)	
11 クロガレイ	北海道	12月12日	0.02	(0.01)	
12 生かき	兵庫県	12月12日	不検出	(0.01)	
13 ヒラメ	千葉県	12月12日	0.07	(0.01)	
14 マサバ	宮城県	12月12日	0.17	(0.01)	
15 マナマコ(アカナマコ)	神奈川県	12月12日	不検出	(0.01)	

4 PCB 検査

平成 29 年 10 月から 12 月までの魚介類の PCB 検査は、5 検体について実施しました。測定は衛生研究所にて実施し、暫定的規制値（遠洋沖合魚介類 0.5ppm、内海内湾魚介類 3ppm）を超えた検体はありませんでした。

PCB 検査結果

品名	産地	収去日	検査結果	(検出限界値)	(基準値)	(ppm)
1 トラギス(トラハゼ)	愛知県	11月9日	不検出	(0.01)	(3)	
2 マゴチ(コチ)	大分県	11月9日	不検出	(0.01)	(3)	
3 マサバ	青森県	11月9日	不検出	(0.01)	(0.5)	
4 マコガレイ	青森県	11月9日	不検出	(0.01)	(3)	
5 マアジ	島根県	11月9日	不検出	(0.01)	(3)	

4 抗菌性物質検査

平成 29 年 10 月から 12 月までの抗菌性物質検査は、冷凍エビ 10 検体、養殖魚 5 検体について実施しました。抗菌性物質を検出した検体はありませんでした。

抗菌性物質検査結果

	品名	産地	収去日	検査結果
1	冷凍エビ	インドネシア	10 月 2 日	不検出
2	冷凍エビ	フィリピン	10 月 2 日	不検出
3	冷凍エビ	インド	10 月 2 日	不検出
4	冷凍エビ	インド	10 月 2 日	不検出
5	冷凍エビ	インド	10 月 2 日	不検出
6	冷凍エビ	インドネシア	10 月 2 日	不検出
7	冷凍エビ	インド	10 月 2 日	不検出
8	冷凍エビ	フィリピン	10 月 2 日	不検出
9	冷凍エビ	インドネシア	10 月 2 日	不検出
10	冷凍エビ	フィリピン	10 月 2 日	不検出
11	マダイ(養殖)	三重県	10 月 12 日	不検出
12	シマアジ(養殖)	三重県	10 月 12 日	不検出
13	カンパチ(養殖)	愛媛県	10 月 12 日	不検出
14	ブリ(養殖)	鹿児島県	10 月 12 日	不検出
15	マダイ(養殖)	愛媛県	10 月 12 日	不検出

残留農薬検査項目

	農薬名		農薬名		農薬名		農薬名		農薬名
1	2-(1-ナフチル)アセタミド	58	キナルホス	115	ジメトン-S-メチル	172	ビリフタリド	229	プロバルギット
2	4_CPA	59	キノキシフェン	116	ジメベピラート	173	ビリブチカルブ	230	プロビザミド
3	BHC	60	キノクラミン	117	シラフルオフェン	174	ビリプロキシフェン	231	プロヒドロジャスモン
4	DDT	61	キントゼン	118	スピノサド	175	ビリミカーブ	232	プロフェノホス
5	EPN	62	クミルロン	119	スピロキサミン	176	ビリミノバックメチル	233	プロボキスル
6	MCPB	63	クレゾキシムメチル	120	ターバシル	177	ビリモホスメチル	234	プロマシル
7	TCMTB	64	クロキンセツトメキシル	121	ダイアジノン	178	ビリメタニル	235	プロメトリン
8	XMC	65	クロゾリネート	122	ダイムロン	179	ピロキロン	236	プロモキシニル
9	アイオキシニル	66	クロチアニジン	123	チアクロプリド	180	ピンクロソリン	237	プロモプロビレート
10	アクリナトリン	67	クロフォンテジン	124	チアベンダゾール	181	フィロニル	238	プロモホスエチル
11	アザコナゾール	68	クロルフェンゾン	125	チアトキササム	182	フェナミホス	239	プロモホスメチル
12	アザメチホス	69	クロプロップ	126	チオベンカルブ	183	フェナリモル	240	フロラスラム
13	アシフルオルフェン	70	クロマゾン	127	チオメトン	184	フェントロチオン	241	ヘキサコナゾール
14	アジンホスメチル	71	クロマフェノジド	128	チフルザミド	185	フェノキサニル	242	ヘキサジノン
15	アセトクロール	72	クロメプロップ	129	テクナゼン	186	フェノキシカルブ	243	ヘキサフルムロン
16	アノキシストロビン	73	クロラクスラムメチル	130	テトラコルビンホス	187	フェノチオカルブ	244	ヘキシチアゾクス
17	アトラジン	74	クロリダゾン	131	テトラコナゾール	188	フェントリン	245	ペナラキシル
18	アニコホス	75	クロリムロンエチル	132	テトラジホス	189	フェノプロカルブ	246	ペノキサコール
19	アモリン	76	クロルエトキシホス	133	テニルコロール	190	フェンアミドン	247	ペノキスラム
20	アラクロー	77	クロルタールジメチル	134	テブコナゾール	191	フェンクロルホス	248	ヘブタクロ
21	アラマイト	78	クロルピリホス	135	テブチウロン	192	フェントエート	249	ペンシクロン
22	イサゾホス	79	クロルピリホスメチル	136	テブフェノジド	193	フェンブコナゾール	250	ペンシルフロムメチル
23	イソキサチオン	80	クロルフェナビル	137	テブフェンピラド	194	フェンプロバトリン	251	ベンゾフェナップ
24	イソキサチオンオキソン	81	クロルプロファム	138	テフルトリン	195	フェンプロビモルフ	252	ベンダイオカルブ
25	イソフェンホス	82	クロロクソン	139	デルタメトリン及びトラロメトリン	196	フェンヘキサミド	253	ベンディメタリン
26	イソプロカルブ	83	クロロネブ	140	テルブトリン	197	フェンメディファム	254	ベンフルラリン
27	イソプロチオラン	84	クロロベンジレート	141	テルブホス	198	フサライド	255	ベンフレセート
28	イプロジオン	85	シアナジン	142	トリアレート	199	ブタクロール	256	ボスカリド
29	イプロバリカルブ	86	シアノホス	143	トリクロビル	200	ブタフェナシル	257	ホスマット
30	イプロベンホス	87	ジウロン	144	トリシクラゾール	201	ブタミホス	258	ホメサフェン
31	イマザリル	88	シクラニリド	145	トリコナゾール	202	ブビリメート	259	ホルクロルフェニユロン
32	イミダクロプリド	89	ジクロスラム	146	トリデモルフ	203	ブプロフェジン	260	ホルモチオン
33	イミペコナゾール	90	シクロスルフラムロン	147	トリブホス	204	ブラザスルブロン	261	ホレート
34	インダノファン	91	ジクロトホス	148	トリフルムロン	205	フラムプロップメチル	262	マラチオン
35	インドキサカルブ	92	ジクロフェンチオン	149	トリフルラリン	206	フラメビル	263	マイクロブタニル
36	エスプロカルブ	93	ジクロホップメチル	150	トリフロキシストロビン	207	フルアクリリム	264	メカルバム
37	エタメスルフロムメチル	94	ジクロメジン	151	トルクロホスメチル	208	フルキンコナゾール	265	メソスルフロムメチル
38	エタルフルラリン	95	ジクロラン	152	ナブタラム	209	フルジオキシニル	266	メタペンズチアズロン
39	エチオフェンカルブ	96	ジクロルプロップ	153	ナブアニリド	210	フルシラゾール	267	メタラキシル及びメフェノキサム
40	エチオン	97	4,4'-ジクロロベンゾフェノン	154	ナブバミド	211	フルトラニル	268	メチダチオン
41	エトキサゾール	98	ジスルホトン	155	ニトロタールイソプロビル	212	フルトリアホール	269	トキシクロール
42	エトキシスルブロン	99	シニドエチル	156	ノバルロン	213	フルバリネート	270	トキシフェノジド
43	エトフェンブロックス	100	シハロホップブチル	157	バクロプロトラゾール	214	フルフェナセット	271	トスラム
44	エトフメセート	101	ジフェナミド	158	バラチオン	215	フルフェノクソン	272	トブレン
45	エトプロホス	102	シフルフェナミド	159	バラチオンメチル	216	フルフェンビルエチル	273	トミノストロビン
46	エトリムホス	103	ジフルフェニカン	160	ハロキシホップ	217	フルオキサジン	274	トドラクロール
47	エンドスルファン	104	ジフルペンズロン	161	ハロスルフロムメチル	218	フルミクロラックベンチル	275	メピンホス
48	エンドリン	105	シプロジニル	162	ピコリナフェン	219	フルメツラム	276	メフェンビルジェチル
49	オキサジアゾン	106	1,1,1-ジ700-2,2-ビス(4-エチルフェニル)エタン	163	ピフェノックス	220	フルリドン	277	モノクロトホス
50	オキサジキシル	107	シメコナゾール	164	ピフェントリン	221	プレチラクロール	278	モノリニユロン
51	オキサジクロメホス	108	ジメタメトリン	165	ピベロホス	222	プロシミドン	279	ラクトフェン
52	オキシフルオルフェン	109	ジメチピン	166	ピラクロストロビン	223	プロチオホス	280	リニユロン
53	オリザリン	110	ジメチリモール	167	ピラゾスルフロムエチル	224	プロバキサホップ	281	リンデン
54	カズサホス	111	ジメテナミド	168	ピラゾホス	225	プロバクロー	282	ルフェズロン
55	カルバリル	112	ジメトエート	169	ピラフルフェンエチル	226	プロバジン		
56	カルフェントラゾンエチル	113	ジメトモルフ	170	ピリダフェンチオン	227	プロバニル		
57	カルプロバミド	114	シメトリン	171	ピリフェノックス	228	プロバホス		

※農作物によって検査項目は異なります。

抗生物質検査項目

オキシテトラサイクリン	クロルテトラサイクリン	テトラサイクリン
-------------	-------------	----------

合成抗菌剤、内寄生虫用剤検査項目

クロピドール	オルビフロキサシン	スルファメキシピリダジン
ダノフロキサシン	オルメトプリム	スルファメキシジアジン
ジアベリジン	オキシリニック酸	スルファモノメトキシ
ジフロキサシン	ピロミド酸	スルファニトラン
エリスロマイシン	ピランテル	スルファピリジン
エトパベート	ピリメタミン	スルファキノキサリン
ファムフル	スルファベンズアミド	スルファチアゾール
フルベンダゾール	スルファプロモメタジンナトリウム	スルファトロキサゾール
フルメキン	スルファクロルピリダジン	スルフィンキサゾール
リンコマイシン	スルファジアジン	スルフィンゾール
マルボフロキサシン	スルファジメトキシ	チアベンダゾール*1
メベンダゾール	スルファジミジン	チアムリン
メチルプレドニゾロン	スルファドキシ	チルミコシン
モランテル	スルファエトキシピリダジン	トリメトプリム
ナリジクス酸	スルファメラジン	キシラジン
オフロキサシン	スルファメキサゾール	

*1 畜水産物:チアベンダゾール及び5-ヒドロキシチアベンダゾールの和
 その他の食品:チアベンダゾールのみ